

行政調査報告書「建設常任委員会」

平成28年7月13日(水)～7月15日(金)

■栃木県宇都宮市「LRT 整備事業について」

平成28年度着工、平成31年12月の開業を目指して隣接する芳賀市と合同で進めるLRT(次世代型路面電車システム)を視察した。

LRTの導入効果は、移動に要する総所要時間の短縮、道路交通事故の減少、環境負荷の軽減、運転できない人の外出機会の向上、沿線地域の活性化、拠点機能の強化による人口や企業などの集積・沿線活動の活性化による税収増などがある。このLRTは時速40キロメートルで走行し、1日の利用者数は平日で約16,000人、休日では約5,500人を見込み、開業2年目より黒字に転換し、採算性もよい。本市においても、まちづくりに様々な効果が期待できる公共交通の一つの手段と考えられる。



■青森県八戸市「くらしのみちゾーンについて」

八戸市では、中心市街地及び周辺地区において、通過交通の排除により、歩行者や自転車の交通安全を確保するとともに、地域住民との協働による道路緑化や無電柱化を図り、質の高い生活環境の向上を図っている。



道路の整備では、電線共同溝の整備、歩道拡幅、荷卸し用停車帯の設置、吸水性インターロッキング、視覚ブロック敷設が主な取り組みである。無電柱化においては、工事期間が長くなることや大きな予算が必要になるが、場所を選んで整備していく必要性を感じた。また、視覚ブロックの敷設は危険な道路には速度抑制するために有効であり、歩いて楽しいまちづくりにはゾーン30のエリアを増やしていくことも合わせて重要と感じた。

■神奈川県海老名市「海老名駅西口土地区画整理事業について」

この事業は、組合施行で進められ、区画整理のエリア内の土地利用は、駅前広場を含めた幅員36mの駅前プロムナード、住宅用地、大型商業施設、住・商複合系用地及びホテルなどの高次機能複合用地から成り立っている。また、駅の東西を一体化したまちづくりを進めるため、平成27年度には幅員6～12m、延長330m程の自由通路が整備された。

一括業務代行方式で実績のある代行者が事業全体のとりまとめを行うことにより、短期間でより魅力的な事業が完結するメリットがあると感じた。

